



## 小規模PPPによる公有財産の有効活用「ヤリクリ大作戦」

## 「ヤリクリ大作戦」を推進する理由

- 令和3年度当初予算内示では、財政調整基金の取崩額が大幅に増加(6.6→16億円)。市税収入全体の減少額4.1億円。
- 事務事業の見直しは進んでおらず、社会保障経費や施設維持管理経費など確実に増加。
- 経常経費の削減は公共サービスの質的劣化に直結し、維持管理費の大胆なコスト削減は長期的には老朽化を増長。
- コスト削減もさることながら、歳入増を図りアップサイドの検討を行うことができるのは、和光市の潜在能力に注目すること。
- “予算がなければ何もしない”という負け癖を和光市役所から払拭する。

## 今後検討する内容(予定)

	対象施設	所管課	方向性・例
公共施設マネジメント	市庁舎	総務人権課	屋内広告
	小学校／中学校	教育総務課	事業用定期借地権の設定、自販機等による財産貸付、プールの統合・屋内化、民間活用
	公民館／図書館	生涯学習課	駐車場施設利用者以外有料化、公用車(一部)のカーシェアリング化
	市民文化センター	総務人権課	「市庁舎にぎわいプラン」による展示棟の利活用推進
	コミュニティセンター／地域センター	市民活動推進課	自販機等による財産貸付
	勤労青少年ホーム	産業支援課	駐車場施設利用者以外有料化
	運動場	スポーツ青少年課	駐車場有料化(他施設との平準化)
	勤労福祉センター(アクシス)	産業支援課	一時休止
市有財産有効活用	パークPFIによる公園の収益化	公園みどり課	自販機等による財産貸付、公園設置管理制度(Park-PFI)によるモデル事業の実施
	買収済未開通道路用地	道路安全課	自販機等による財産貸付
	普通財産の貸付・売却	総務人権課	暫定利用もしくは売却

## 小中学校個別施設計画との連携体制構築

- 小中学校個別施設計画によると、小中学校の施設改築は第3次計画がメイン。
- 第2次公共施設マネジメント実行計画は、第3次計画の推進に向けて、教育委員会及び市長部局間の連携体制強化が主目的。
- プールの集約化・屋内化、事業用定期借地権設定をセットとした事前検討、及び教育委員会の理解促進。
- 学校施設の複合化前提条件を共有するために、市内最初の複合化学校施設による下新倉小学校の運用形態を検証。



下新倉小学校

## 「ヤリクリ大作戦」からの計画継続

- 第1次計画延長期間に実施する「ヤリクリ大作戦」は短期実施のため、より詳細な検討や市民説明のための時間が必要な項目は第2次計画にローリング。

## 市有財産の有効活用

- 都市再生推進法人による市有財産の有効活用。

※ 都市再生推進法人とは、都市再生特措法に基づき、まちづくりを担う法人を市が指定するもの。



外環上部丸山台地区

## PPP(官民連携)手法マニュアルの改善

- 「和光市官民連携事業基本指針」を改善し、関係各部署がよりPPP手法を選択しやすいように改善する。